

# 産業動物の就業研修（臨床実習・行政体験研修）へのお誘い

## 就業研修の募集要領

### 1 就業研修の受講手続き

受講を希望される方は、次の手続きを行ってください。

#### (1) 研修申し込み

受講を希望される方は、公益社団法人中央畜産会ホームページ（<http://jlia.lin.gr.jp>）又は（<http://jlia.lin.gr.jp/archives/1825>）から、様式「産業動物獣医師就業研修願書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、在籍大学が発行する「在学証明書」を添付して、在籍大学の研修担当窓口（教務課・獣医事務課等）に提出して下さい。併せて必要事項を記入した「産業動物獣医師就業研修願書」（Excel データ）を、申込者自身で家畜衛生対策推進協議会事務局（[rinshou@sec.lin.gr.jp](mailto:rinshou@sec.lin.gr.jp)）あて送信してください。

なお、受講希望者が募集人数（280名）を超えた場合には、調整させていただきます。

また、家畜伝染病の発生状況等により、研修機関によっては開催できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。また、防疫上の観点から、各研修の開始日の少なくとも1週間前は、口蹄疫及び鳥インフルエンザの発生国への海外旅行は行わないよう特にご注意願います。

#### (2) 就業研修受講者の決定

家畜衛生対策推進協議会（以下、「本協議会」という。）は、提出された受講希望を取りまとめ精査した上で決定し、就業研修の受講希望者、開催県及び大学等に通知します。

#### (3) 研修に必要な経費

就業研修受講者は、原則として当該研修参加費等は必要としないこととしております。

ただし、食事代は自己負担になります。また、在籍大学から研修場所までの往復の交通費（公益社団法人中央畜産会の旅費規程に準じて算定します。ただし、研修前後に係る私用の移動については助成の対象外とします。また、航空機利用の場合は制限がありますのでご注意願います。）研修中の宿泊費は一定額（上限は1泊5,000円）を助成しますが、それを上回る場合は、研修受講者の自己負担となります。

なお、研修期間中の傷害及び損害保険は、本協議会で対応します。

### 2 就業研修の開催予定場所・時期

#### (1) 臨床実習研修

- |          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| A 酪農学園大学 | ： 平成30年8月20日（月）～8月24日（金）5日間（牛）     |
|          | 北海道江別市文京台緑町582 電話 011-388-4797     |
| B 岩手大学   | ： 平成30年8月20日（月）～8月24日（金）5日間（牛）     |
|          | 盛岡市上田3-18-8 電話 019-621-6237        |
| C 麻布大学   | ： 平成31年2月11日（月）～2月15日（金）5日間（豚）     |
|          | 相模原市中央区淵野辺1丁目17-71 電話 042-754-7111 |
| D 山口大学   | ： 平成30年8月6日（月）～8月10日（金）5日間（馬）      |
|          | 山口市吉田1677-1 電話 083-933-5873        |
| E 宮崎大学   | ： 平成30年8月20日（月）～8月24日（金）5日間（牛）     |
|          | 宮崎市学園木花台西1-1 電話 0985-58-7277       |
| F 鹿児島大学  | ： 平成30年8月20日（月）～8月24日（金）5日間（牛）     |
|          | 鹿児島市郡元1-21-24 電話 099-285-8736      |
| G 鹿児島大学  | ： 平成30年8月6日（月）～8月10日（金）5日間（馬）      |
|          | 鹿児島市郡元1-21-24 電話 099-285-3538      |

H 日本養豚開業獣医師協会 : 平成30年8月~平成31年2月中旬(期間中の1週間)  
 (時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。)  
 事務局: 神奈川県厚木市上古沢 1816 電話 090-2045-1960(北川)

I 農業共済組合連合会 : 平成30年8月~9月頃(期間中の1週間)  
 (時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。)

- (ア) 山形県農業共済組合  
 山形県天童市小関 1333 電話 023-656-8988
- (イ) 千葉県農業共済組合連合会  
 千葉県千葉市中央区新千葉 3-2-6 電話 043-245-7454
- (ウ) 兵庫県農業共済組合連合会  
 兵庫県神戸市中央区下山手通 4-15-3 電話 078-332-7160
- (エ) 鳥取県農業共済組合  
 鳥取県東伯郡北栄町東園 271 電話 0858-37-5631
- (オ) 愛媛県農業共済組合  
 愛媛県松山市二番町 4-4-2 電話 089-941-8135
- (カ) 宮崎県農業共済組合連合会  
 宮崎県宮崎市宮脇町 118 番 電話 0985-27-4288
- (キ) 鹿児島県農業共済組合連合会  
 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 12-4 電話 099-255-6161

(2) J 行政体験研修

次の各都道府県の家畜保健衛生所等において、1週間の行政体験研修を実施します。  
 [ 囲み数字は、各都道府県の受講可能時期です。]

北海道	~	岩手県	~	宮城県		秋田県	~
山形県	~	福島県	~	茨城県	~	栃木県	~
群馬県	~	埼玉県	~	千葉県		東京都	
神奈川県		新潟県	~	富山県	~	石川県	~
福井県	~	山梨県		長野県	~	岐阜県	~
静岡県	~	愛知県		滋賀県	~	京都府	~
兵庫県		奈良県	~	和歌山県	~	鳥取県	~
島根県	~	岡山県	~	広島県		山口県	~
徳島県	~	香川県	~	愛媛県	~	福岡県	~
佐賀県	~	長崎県	~	熊本県		大分県	~
宮崎県	~	鹿児島県		沖縄県	~		

< 受講可能時期 >

平成30年8月 6日(月) ~ 8月10日(金)  
 平成30年8月13日(月) ~ 8月17日(金)  
 平成30年8月20日(月) ~ 8月24日(金)  
 平成30年8月27日(月) ~ 8月31日(金)  
 平成30年9月 3日(月) ~ 9月 7日(金)  
 平成30年9月10日(月) ~ 9月14日(金)

### 3 応募資格、募集人数

獣医学部(学科)在籍者

#### (1) 臨床実習研修

- |   |                |   |       |         |
|---|----------------|---|-------|---------|
| A | 酪農学園大学(牛)      | : | 10名   | (4、5年生) |
| B | 岩手大学(牛)        | : | 10名   | (3~5年生) |
| C | 麻布大学(豚)        | : | 10名   | (4、5年生) |
| D | 山口大学(馬)        | : | 12名   | (4、5年生) |
| E | 宮崎大学(牛)        | : | 10名   | (3~5年生) |
| F | 鹿児島大学(牛)       | : | 10名   | (4、5年生) |
| G | 鹿児島大学(馬)       | : | 10名   | (2~5年生) |
| H | 日本養豚開業獣医師協会    | : | 10名   | (2~5年生) |
| I | 農業共済組合等        |   |       |         |
|   | ・山形県農業共済組合     |   | 5名程度  | (2~5年生) |
|   | ・千葉県農業共済組合連合会  |   | 6名程度  | (2~5年生) |
|   | ・兵庫県農業共済組合連合会  |   | 10名程度 | (2~5年生) |
|   | ・鳥取県農業共済組合     |   | 5名程度  | (2~5年生) |
|   | ・愛媛県農業共済組合     |   | 5名程度  | (2~5年生) |
|   | ・宮崎県農業共済組合連合会  |   | 5名程度  | (2~5年生) |
|   | ・鹿児島県農業共済組合連合会 |   | 10名程度 | (2~5年生) |

(2) J 行政体験研修 : 150名程度(1年生~5年生)

### 4 カリキュラムの概要

#### (1) 臨床実習研修(大学実施カリキュラム:別添1)

##### A 酪農学園大学

動物病院において、症例を用いて臨床診断・治療法を、また、農場において診療・疾病予防の実際を学ぶ(対象家畜:牛)

##### B 岩手大学

牛の診療の基本、牛のハンドリングやロープワーク等を含めた治療の基本手技及び繁殖関連疾病の診断と治療の実際や病理解剖について学ぶ(対象家畜:牛)

##### C 麻布大学

学内実習場において、衛生管理技術等の習得とともに内科学的診断・治療法、繁殖障害の診断・治療法等を学ぶ(対象家畜:豚)

##### D 山口大学

馬の救急医療に必要な知識および技術をアメリカ UC Davis 校の Hands-on プログラムと Case discussion を通して学ぶ(対象家畜:馬)

##### E 宮崎大学

産業動物診療施設を生かした実習(大動物用X線CT検査、腹腔鏡検査等)を中心として、内科診断学、外科的疾患の診断・治療、繁殖障害の診断・治療、感染症および防疫について学ぶ(対象家畜:牛)

- F 鹿児島大学  
牛の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ(対象家畜:牛)
- G 鹿児島大学  
馬の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ(対象家畜:馬)
- H 日本養豚開業獣医師協会  
現役で活躍している養豚専門獣医師の診療活動に同行して、疾病の診断・治療法を学ぶとともに、農場全体としての衛生管理指導を学ぶ(対象家畜:豚)
- I 農業共済組合連合会  
農業共済組合連合会等の診療施設で、職員の獣医師に同行して、疾病の診断・治療法、飼養衛生管理指導等を学ぶ(対象家畜:乳牛、肉牛)
- (2) J 行政体験研修(カリキュラムの事例:別添2)  
都道府県の家畜保健衛生所を中心として、畜産農家に対する防疫・衛生指導、室内検査等行政機関勤務獣医師の業務を学ぶ(43都道府県)

5 受講者受付期限 平成30年6月15日(金)

## 6 問合わせ先

家畜衛生対策推進協議会(事務担当:公益社団法人中央畜産会衛生指導部)  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9階  
電話:03-6206-0832(担当:鈴木、佃)  
Fax:03-5289-0890

なお、本会から直接電話連絡する場合には、03-6206-0832又は0835からとなります。  
願書への携帯電話番号などを記入しておいて下さい。

メールアドレス	:	<a href="mailto:rinshou@sec.lin.gr.jp">rinshou@sec.lin.gr.jp</a>
中央畜産会ホームページ	:	<a href="http://jlia.lin.gr.jp">http://jlia.lin.gr.jp</a>
募集要領・願書	:	<a href="http://jlia.lin.gr.jp/archives/1825">http://jlia.lin.gr.jp/archives/1825</a>

## 臨床実習研修カリキュラム

(カリキュラムは、現在の予定であり、今後変更されることがあります。)

## A 酪農学園大学(牛専攻)

	9:00~12:00	13:00~17:00
8月20日(月)	・開講式 ・牛の身体検査	・成牛の臨床検査のための検体採取と検査
8月21日(火)	・雌牛の生殖器検査と人工授精の基本	
8月22日(水)	・乳牛群の健康管理とモニタリング	
8月23日(木)	・子牛疾病の内科診断と治療	
8月24日(金)	・牛の運動器疾患の診断と治療	・牛の運動器疾患の診断と治療 ・閉講式(修了証の授与)

## B 岩手大学(牛専攻)

	午前	午後
8月20日(月)		・開会、ガイダンス ・牛診療の基本(講義)(実習) ・総合演習(~19:40)
8月21日(火)	・牛のハンドリングと診療の実際 (ロープワーク・牛のハンドリング・生体の観察と診断・診療手技の基本)	
8月22日(水)	・牛の繁殖機能検査(診断と治療の基本手技、画像診断学(超音波)、性ホルモン測定法、卵巣疾病・子宮疾患治療の実際)	
8月23日(木)	・NOSAI 診療同行(近辺農場における臨床の実際を体験する)	・病畜の臨床診断(解剖予定牛の臨床検査と診断)
8月24日(金)	・病理解剖実習(解剖予定牛の総合診断、病理解剖の進め方(講義))	・病理解剖実習 ・閉講式(総合討論、閉会)

## C 麻布大学(豚専攻)

	9:00~12:00	13:00~17:00
2月11日(月)	・開講式 ・ガイダンス ・豚の臨床と獣医師について	・豚のハンドリング (豚の一般検査、試料採取法) ・豚の血液検査
2月12日(火)	・豚の病理解剖法 ・病原体検索法	・病豚の病理解剖実習 ・病原体検索実習(採材法)
2月13日(水)	・豚の栄養学 ・豚の繁殖学	・豚臨床繁殖実習 (発情観察、妊娠鑑定手法、直腸検査法) ・病原体検索実習(細菌検査)
2月14日(木)	・豚の感染症 ・豚の肢蹄障害	・病原体検索実習(PCR検査) ・獣疫学的手法と実際の農場対応
2月15日(金)	・病理切片観察 ・発表会資料作成	・病性鑑定・発表 ・総合討論 ・閉講式(修了証の授与)

#### D 山口大学 (馬専攻)

	8 : 30 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 17 : 00 ( ~ 20 : 00 )
8月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・救急医療の基礎(医療面接、診察、保定、採血、注射法、経鼻・経口投与法、歯科)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科実習(各種検査法、局所麻酔法、角膜縫合、結膜フラップ、点眼留置、眼瞼縫合)</li> <li>・学内見学</li> </ul>
8月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器実習(心臓疾患の病態と病理解剖法、心電・心音図検査、超音波検査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器実習(内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、超音波検査、永久気管開口術、円鋸術、喉頭形成術)</li> <li>・症例検討会(ディスカッション)</li> </ul>
8月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跛行診断実習(歩様検査、触診、超音波検査、診断麻酔法)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像診断実習(X線撮影法、フィルムリーディング、四肢局所解剖)</li> <li>・症例検討会(スライド作成)</li> </ul>
8月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CT、MRI、核医学、消化器内科実習(疝痛診断治療、合併症、直腸検査、超音波検査、腹水検査、経鼻胃カテーテル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔実習(倒馬・覚醒法、麻酔管理、開腹手術・腹腔探查、病理解剖)</li> <li>・症例発表会</li> </ul>
8月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科実習(キャスト固定)</li> <li>・AO法による整形外科(Lag、ワイヤー、DCP、LCP))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖実習(馬の繁殖疾患)</li> <li>・生殖器解剖</li> <li>・修了証授与・総括・解散</li> </ul>

\*持参品：つなぎ、帽子、聴診器、秒針つき時計、プレゼンテーション用ノートパソコンもしくはタブレット。

\*宿泊施設は大学で指定します。

#### E 宮崎大学 (牛専攻)

	9 : 00 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 17 : 00
8月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・牛の臨床検査(講義)</li> <li>・牛の外科的処置(講義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の臨床検査の実習(身体検査、採血、血液検査、第一胃液検査、尿検査等)</li> </ul>
8月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の臨床繁殖学(講義)</li> <li>・牛の麻酔(講義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の臨床繁殖学の実習(住吉フィールド：直腸検査、超音波画像診断等)</li> </ul>
8月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の腹腔鏡検査(講義)</li> <li>・牛の腹腔鏡検査の実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の感染症の講義(口蹄疫、白血病)</li> <li>・防疫演習</li> </ul>
8月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛のCT検査(講義)</li> <li>・牛のCT撮影の実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の解剖実習</li> </ul>
8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口蹄疫メモリアルセンターの見学(高鍋町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰学</li> <li>・閉講式(修了証の授与)</li> </ul>

## F 鹿児島大学（牛専攻）

	9 : 00 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 17 : 00
8月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・牛の臨床検査(保定、一般臨床検査など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の治療法(注射法および採血法、血液検査など)</li> </ul>
8月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉牛の生産現場実習(肉牛の飼養管理、1次診療など) (現地実習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子牛の臨床診断と治療法(症例に対する臨床診断と治療法)</li> </ul>
8月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳牛の生産現場実習(乳牛の飼養管理、繁殖検診など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の麻酔法と画像検査(CT検査、MRI検査など)</li> </ul>
8月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の画像検査(超音波検査、X線検査など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子牛の外科手術(腹部外科)</li> </ul>
8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の繁殖技術(過剰排卵誘起、胚回収)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床病理解剖実習(生体の構造と臨床病理)</li> <li>・閉講式(修了証の授与)</li> </ul>

## G 鹿児島大学（馬専攻）

	9 : 00 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 17 : 00
8月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・総論(馬の特性、一般検査等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習用馬での実習 ハンドリング、一般検査(視診、触診、聴診、打診)、採血法、注射法</li> </ul>
8月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科学 循環器疾患、呼吸器疾患、消化管疾患</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧場での実習 ハンドリング、乗馬</li> </ul>
8月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖学 牝馬の繁殖生理と疾患</li> <li>・全身麻酔法 倒馬、麻酔維持、各種モニター、覚醒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖体での実習 雌生殖器触診(解剖体)</li> <li>・実習用馬での実習 全身麻酔法、CT撮影法</li> </ul>
8月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外科学 呼吸器外科、消化器外科、整形外科、創傷治療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習用馬での実習 レントゲン検査法、超音波検査法、内視鏡検査法、経鼻カテーテル挿入法</li> </ul>
8月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖体での実習 喉頭形成術、腸管吻合、創傷治療法、螺子固定術、関節鏡手術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合ディスカッション</li> <li>・閉講式(修了証の授与)</li> </ul>

## 行政体験研修カリキュラム事例

## 事例 1

	午 前	午 後
1 日目(月)	オリエンテーション 家畜保健衛生所の業務概要等の説明	畜産試験場の見学、業務概要説明 牛の妊娠鑑定(超音波画像診断)、直腸検査
2 日目(火)	家畜伝染病予防法巡回検査(牛結核病、 ブルセラ病、ヨーネ病)	検査室業務 牛ヨーネ病検査、糞便検査
3 日目(水)	病性鑑定業務 病理解剖(牛)	検査室業務 細菌検査実習等
4 日目(木)	放牧衛生検査 妊娠鑑定、採血等	検査室業務 ピロプラズマ病検査、血液検査、染色法
5 日目(金)	病性鑑定業務 病理組織検査	検査室業務：細胞観察等 研修終了に伴う感想等意見交換

## 事例 2

	午 前	午 後
1 日目(月)	オリエンテーション 家畜保健衛生所の業務概要等の説明	ヨーネ病農家立入検査 ヨーネ病検査(ELISA 検査)
2 日目(火)	肉用牛農家巡回指導(飼養管理指導、ビタ ミン A・生化学検査採血等)	肉用牛農家巡回指導(飼養管理指導、ビタ ミン A・生化学検査採血等)
3 日目(水)	病理組織検査 細菌検査(グラム染色、生化学、ディスク検査)	畜産試験場等県内関連施設の見学
4 日目(木)	検査室業務 PCR 検査	検査室業務 BSE 検査(採材、ELISA 検査)
5 日目(金)	オーエスキー病農家立入検査 腐蛆病立入検査	検査室業務：オーエスキー病検査 研修終了に伴う感想等意見交換

(注) 行政体験研修のカリキュラムは、受講する家畜保健衛生所の業務の実施状況等によりそれぞれ異なります。